

# TimeLineMap を使用した横浜歴史マップの作成

## —地図と年表の融合—

前田 あす香

各地域に存在する歴史を可視化することは、非常に困難である。しかし、その可視化することが困難な情報を容易に知ることができたならば、街の見え方や楽しみ方も違ったものになってくるのではないだろうか。そこで、特定の街の歴史や記憶を可視化することが可能なモバイルで利用可能な電子マップ作りを行った。

キーワード：歴史、記憶、文献、地域の人、地図、フィールドワーク

### 1 研究目的と背景

それぞれの地域にはなんらかの歴史があるはずだが、その場所を訪れるだけではその歴史を見ることはできない。それらは、文献や地元の人々の記憶の中にある。通常、訪問者がそうしたものにアクセスするのは困難である。しかし、こうした街の“記憶”をその場で見られれば、街の見え方、楽しみ方も全く違ったものになるであろう。

こうしたことから、アクセス困難な街の歴史をその場で可視化できるようなモバイル電子マップの作成を試みた。こうしたマップを作ることは、街の歴史を知る方々、システム開発者、街を訪れる人々を結びつけ、コーディネートすることなしには不可能である。

以上から、この研究の目的は街の歴史、記憶というテーマの元で様々な人々を相互に結びつけることを通して、街の歴史や記憶を可視化するモバイル電子マップの作成することである。

### 2 地図作成のシステム

上野研究室松村(2006年)はGoogleMapsAPIを用いたサーバ設置型の地図システムであるmapwikiを開発。同研究室の加藤(2008年)はMIT Time Lineを統合し、地図と共に時間情報を表示可能なTimeLineMapシステムを開発した。また加藤(2009年)はこのシステムをiPhoneでも使えるように再デザインした。

このシステムでは、特定の地域の時間情報と地図情報を同時に書き込み、表示することが可能である。また、iPhoneなどでも利用することができるので、街を歩きな

がら、それぞれの場所についての歴史をモバイルマップで参照することが可能である。

このシステムを用いて、今回は横浜市中区の関内・元町・山手の歴史と記憶を可視化できる地図を作成した。

これらの街の歴史を記したサイトや紙媒体、紙の地図は多数あるが、モバイル電子マップと共に情報が掲載されているものはほとんどない。Y150で作られた「みんなの横濱写真アルバム」は、加藤が開発したTimeLineMapシステムを用いているが、関内・元町・山手に関しては多くの情報がこの地図システム上で未登録である。

### 3 調査・実験方法

#### 3.1 TimeLineMapを使用した地図の作成

横浜コミュニティデザイン・ラボの福井一男氏の協力を得て地図を作成した。福井氏は、関内で生まれ育ち、この地域に大変くわしい。彼と共にその場所を歩き、どのような場所で、どのような歴史があったのかを伺った。こうしていただいた情報を元に地図を作成した。



図1 TimeLineと共に記した地図

図1の上部が年表部分、下部が地図である。



図2 iPod touchの画面  
図2 は iPod touch 上での表示画面

### 3. 2 ブログの作成

福井氏提供の、写真と情報をラベル（カテゴリー）分けしブログに記載し、また記事の1つ1つと地図のポイントをリンクさせ、地図からブログ記事に飛べるようにした。

## 4 結果

### 4. 1 作成した地図とブログを使ってもらう

誰にでも使いやすいよう、ユーザビリティに基づく調査を以下の項目で行った。操作のわかりやすさ、見やすさ、反応の良さ、役立ち感。対象者は地方に住む5名と関東在住者3名である。以下がその結果である。

表1 インタビュー結果をまとめた表

良い点	
操作のわかりやすさ	・ポイントをクリックして写真が出る⇒見やすい ・地図のポイントからブログに飛べる⇒情報がわかりやすい
見やすさ	・ポイントをクリックすると年表も動く⇒時代がわかりやすい
反応の良さ・役立ち感	・ディープな情報がいい ・実際にその場に行かずに情報を得られる ・自らがその地を巡れる

悪い点	
見やすさ	・バーの色が暗い、ポイントが同色
反応の良さ・役立ち感	・ストリートビューなどがほしい

### 4. 2 再デザイン

このインタビューの結果を受けて、年表部分を明るくし、ポイントの色もカテゴリーで分けた。ストリートビューに関しては、今後上野研の小黒がカスタマイズしているパノラマ写真を用いることで対応可能である。



図3 新しくしたポイントの様子

## 5 考察

本研究で作成したモバイル電子マップは、「他の地図では見られないディープな情報が得られる」という点で評価を得た。この評価は、地域の歴史に詳しい福井氏に多く負っている。

このことは、街の歴史、記憶を可視化する地図を作るということは、もう一方で、その街の方々とのネットワークを形成することに他ならないことを示している。

今後は、横浜市中区におけるそうしたネットワークを維持し、また、広げることを通して、ここで作成したモバイル電子マップを継承できるような仕組みを作り、さらにこれを充実させていきたい。

## 謝辞

本研究を進めるにおいて、たくさんの方々の協力を得たのでこの場を借りてお礼申し上げます。

上野先生、福井一男様、渡部健司様、また、上野研究室の小林佑輔さん、小黒健司さん。

ご協力ありがとうございました。

## 参考文献

- [1] タウンマップサガス 2009 横浜市住宅地図中区 刊  
広社
- [2] 横浜の歴史 タイムスリップ横浜  
<http://www.timeslip-y.jp/>

(指導教員 東京都市大学 環境情報学部教授  
上野 直樹)